

**Sassor、シェアリングエネルギーおよび豪州Evergenと業務提携し、分散電源の
エネルギーマネジメントの実証を開始
～シェアでんき蓄電池モデルを活用したVPPサービスへの商用化検討～**

エネルギーリソースのアグリゲーションサービス「ENES」を提供する株式会社Sassor（本社：東京都目黒区、代表取締役：石橋秀一）は、株式会社シェアリングエネルギー（本社：東京都港区、代表取締役：上村一行、以下シェアリングエネルギー）およびEvergen Pty Ltd（本社：Australia Newcastle East、CEO：Ben Hutt、以下Evergen）と業務提携しました。シェアリングエネルギーが所有する分散電源を活用したエネルギーマネジメントの技術検証及び商用化の検討を実施します。

**シェアリングエネルギー、豪州Evergen、Sassorの3社が、
家庭用蓄電池を活用したVPP実証において協業開始**



作成：シェアリングエネルギー

【業務提携の背景】

昨今、継続的な燃料不足および太陽光発電等の変動性再生可能エネルギーの導入拡大による、相次ぐ電力の需給逼迫への対処策が求められています。

加えて、2050年カーボンニュートラルの実現を目指す状況の中、電力の需給バランスの取り方として、電力の供給側の取り組みだけでなく、需要側のエネルギーリソース（分散電源）を活用したアグリゲーションビジネスに期待が集まっています。

シェアリングエネルギーのCEOである上村一行は、「国内外で電力や燃料の不足が続く中、導入が拡大している分散型エネルギー資源の最善の商用化方法を検討するために、EvergenやSassorといった知見を持った企業との協業に期待しています」と述べています。「この実証事業が、分散型電源である再生可能エネルギーの可能性を検証し、将来的に同様のプロジェクトが広く普及するための道を開くと確信しています。」

EvergenのCEO兼マネージングディレクターであるBen Huttは、「シェアリングエネルギーとのパートナーシップは、日本の状況においてオーストラリアの優れた技術力を示す良い

機会であり、グローバル社会にクリーンで持続可能なエネルギーをもたらすという我々のミッションにおいて一步前進を意味すると考えています」と述べ、「高い電力価格、先進技術、政府の支援、再生可能エネルギー増加への野心的目標、分散電源の管理という日本独自の組み合わせに対して、我々は多くをもたらすことができます」と語っています。

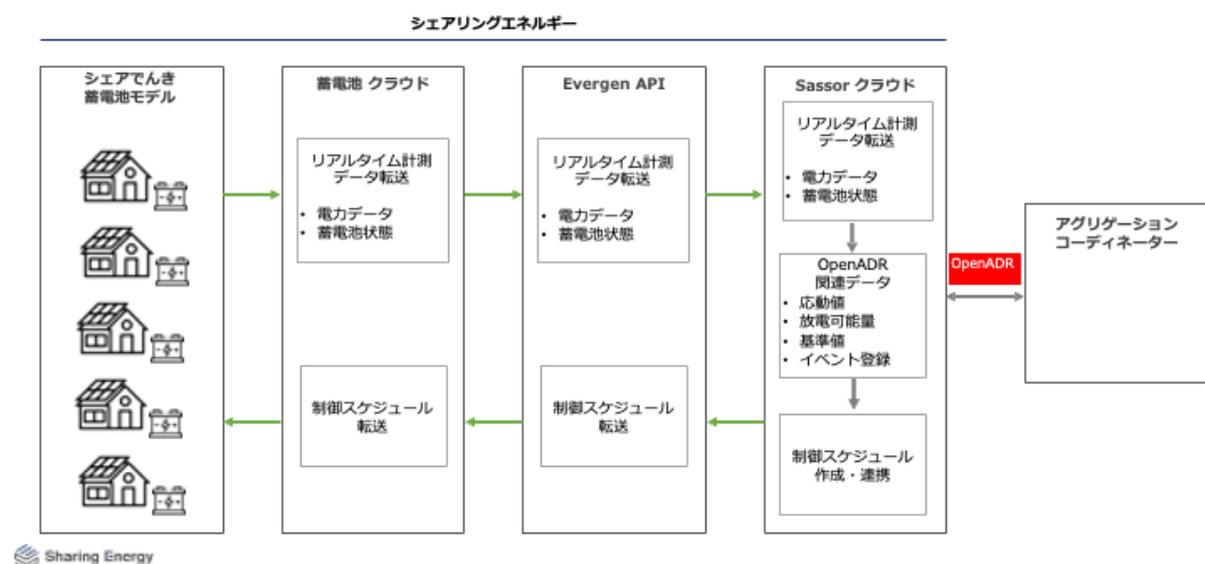
【業務提携の内容及び役割分担】

シェアリングエネルギーは経済産業省「令和4年度 分散型エネルギーリソースの更なる活用に向けた実証事業（以下DERアグリ実証）」に参画し、シェアでんきと大容量・高出力蓄電池Tesla Powerwallをパッケージ提供する「シェアでんき蓄電池モデル」を活用し、アグリゲーションビジネス拡大のための実証事業を進めています。

この度、Sassorが提供するRA（リソースアグリゲーター）システム「ENES」と、Evergenが提供する制御APIの活用を通じて、シェアリングエネルギーは「シェアでんき蓄電池モデル」として提供する蓄電池システムを統合・遠隔制御し、DR（デマンドレスポンス）やVPP（バーチャルパワープラント）といったアグリゲーションサービスの商用化検討を実証します。

社名	役割
シェアリングエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・リソースアグリゲーター ・エネルギー設備・機器（シェアでんき蓄電池モデル）の設計、調達、施工および保守運用
Evergen	<ul style="list-style-type: none"> ・Tesla Powerwallの外部API（計測・制御）の提供
Sassor	<ul style="list-style-type: none"> ・供給力実証及び発動指令電源向けのRAシステム（ENES_VPP）の提供 ・一次調整力実証のための技術サポート対応 ・実証サポート対応

DERアグリ実証における電力データ連携フロー



作成：シェアリングエネルギー

【今後の取り組み】

シェアリングエネルギーとEvergen、Sassorは、今年度のDERアグリ実証を通じ、家庭用蓄電池を遠隔制御する際の技術検証と課題の洗い出しおよび収益化に向けた取り組みを加速させていきます。さらに、EV充電器や給湯器等、制御対象となるエネルギーリソースの種類と数量を増やし統合制御することで、電力の安定供給とカーボンニュートラルの推進にも貢献してまいります。

■シェアリングエネルギーについて

「分散電源の創出により、エネルギーシステムを変革する」をミッションに掲げ、「シェアでんき」を始めとする分散電源の提供及びエネルギーマネジメントサービス企画開発を展開。再生可能エネルギーの自家消費・地産地消を促進することで、持続可能な社会の実現に寄与してまいります。また、2021年には福岡県吉富町と、2022年には福岡県田川市との包括連携協定を発表し、行政・地方自治体との取り組みも推進してまいります。

■Evergenについて

オーストラリアで設立されたEvergenは、エネルギーサプライチェーンのデジタル最適化を可能にするソフトウェアプラットフォームを提供し、再生可能技術の導入による利益を最大化します。これには、公益事業規模の発電および蓄電資産、C&Iサイト、太陽光発電や蓄電を備えた家庭や企業、その他多くの機器が含まれます。同社のシステムは、OEM、設置業者、電力小売業者、ネットワーク、資産所有者・運営者、消費者が、資産の最適な機能を確保するために使用しています。Evergenは、現在世界中のプロジェクトに参加しており、F RV-X、Providence Climate Capital、AMP、Artesian Capital Management、CSIRO Energyなどの株主によってサポートされています。

Evergenの使命は、石炭火力発電所の引退を加速させ、弾力性のある再生可能なエネルギーシステムへの移行を促進することにより、エネルギーシステムの脱炭素化を図ることです。詳細については、公式サイト (<https://evergen.energy/>) をご覧ください。

■Sassorについて

エネルギーリソースを分析・制御する技術をもとに、容量市場・需給調整市場等を対象としたアグリゲーションサービス「ENES」の開発と提供を行っています。

今後は独自の技術(需要家の経済効果を最大化する蓄電池制御機能・消費/発電予測機能など)を強みとして、様々なリソースを大規模にアグリゲートしてリソースアグリゲーター事業の展開を目指します。

- 会社名 : 株式会社Sassor
- 所在地 : 東京都目黒区上目黒2丁目10-4
- 設立 : 2010年9月
- 代表者 : 代表取締役 石橋 秀一
- 事業内容 : エネルギー関連サービスの開発・提供
- URL : <https://www.sassor.com>

■本件に関するお問い合わせ先

- 株式会社Sassor
- 担当 : 矢嶋
- Mail : sales@sassor.com